葦毛通信

クロミノニシゴリ

平成 30 年 8 月 14 日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町 3 丁目 1
TEL：0532-56-6060
No. 68

1、2018モニタリング報告－2

今年は６月には一定の雨が降りましたが、７月に入りほとんど雨が降っていません。連日猛暑で高温が続いて葦毛湿原も乾燥しています。台風 12 号が来た時にある程度降りましたが、植物にとっては十分ではありません。８月に入ってからも雨はほとんど降っていません。ミミカキグサが自生しているところの一部では、土が干からびてひび割れています。このまま雨が降らなければ、葦毛湿原にとっては大きな影響が出るかもしれません。

１）Ｇ・Ｓ地点（一の沢）

一の沢は昨年バックホーで抜根とコシダ・ネザサの根の除去を行った直後には白いチャートの礫が目立つ何もない荒地状態になりました（葦毛通信 No, 59 参照）。あれから７か月が過ぎ、水が流れているところを中心に多くの湿生植物が発芽してきました。

６月 15 日では植物の発芽はまばらですが、８月８日には、画面中央から右側に向かって植物が帯状に伸びているのが見えます。ここが一の沢の本体で水の流れが見られる部分です。上流部の写真では水の流れ沿い（写真中央）とその左側（水分が多く湿っており、ネザサやコシダが繁茂していたところ）に植物が発芽しているのが見られます。

一の沢全体（北から：2018 年 6 月 15 日）

一の沢全体（北から：2018 年 8 月 8 日）

一の沢上流部（北西から：2018 年 5 月 16 日）

一の沢上流部（北西から：2018 年 8 月 8 日）

作業を行った一の沢上流部の上は国有林で、天然記念物指定地との境は植生回復作業により明るくなり、これまで見られなかったサワギキョウ、ミズギボウシ等の湿生植物が発芽してきました。つまり土壌シードバンク内に埋土種子が残っているということで、指定地内と同様の植生回復作業を行えば、国有林内も良好な湿地に復元できるということです。

一の沢全体（南から：2018 年 4 月 12 日）

一の沢全体（南から：2018 年 8 月 8 日）

発芽した植物は、ミミカキグサ、ミカヅキグサ、シラタマホシクサ、ミズギボウシ、カヤツリグサやイグサの仲間等の多くの湿生植物です。まだバックホーの作業後一年目なのでまばらな発芽ですが、他の地点と同様に２～３年後には地表面の礫が見えなくなるほど湿生植物が復活すると予想しています。

ミミカキグサ

ミカヅキグサ・シラタマホシクサ（2018 年 8 月 8 日）

２）Ｓ地点西部（一の沢）

一の沢西部はネザサの根の層をバックホーで除去したところです。除去直後は全体に黒い土に覆われていましたが、雨にたたかれ白い礫が目立つ裸地になりました（葦毛通信 No,58 参照）。しかし、予想通り面的に水が湧き出し良好な湿地に復元されました。アオコウガイゼキショウ等のイグサの仲間やカヤツリグサの仲間が発芽してきました。近接する湿地中心部に多く自生するサワギキョウも発芽しており、これも埋土種子からの発芽と考えられます。

現在はまだ礫が目立つ状態ですが、来年はもっと多くの湿生植物が発芽し、礫が目立たなくなると予想しています。

一の沢西部（北から：2018 年 8 月 8 日）

一の沢西部（西から：2018 年 5 月 16 日）

一の沢西部（西から：2018 年 7 月 27 日）

2、第3回葦毛湿原再生フォーラム

「葦毛湿原の湿生植物はどこから来たのか？」

題名：第３回葦毛湿原再生フォーラム「葦毛湿原の湿生植物はどこから来たのか？」
とき：９月９日(日)開会13時55分～16 時30分（開場13時30分）
ところ：豊橋市民センター　カリオンビル６階多目的ホール（松葉町2丁目63）
講師：植田邦彦（岐阜大学客員教授、植物分類学）
演題：「東海丘陵要素植物群の起源」
定員：９９名（当日先着順）参加料：無料
問合せ：豊橋市文化財センター（☎0532・56・6060）

葦毛湿原には、ヌマガヤ、ミカワバイケイソウ、ミカヅキグサ等の北方系植物とミミカキグサ、ミカワシンジュガヤ等の南方系植物、ミカワシオガマ、ミカワバイケイソウ等の「ミカワ」を冠した植物やヒメミミカキグサ、シラタマホシクサ、クロミノニシゴリ、トウカイコモウセンゴケ等の東海地方に特有の植物があります。これまで行った大規模植生回復作業を説明するとともに、葦毛湿原に 30 年以上前から関わっておられる岐阜大学の植田邦彦先生に葦毛湿原の湿生植物の起源についてご講演いただきます。

トウカイコモウセンゴケ

ヒメモモカキグサ

第３回葦毛湿原再生フォーラム

葦毛湿原の湿生植物はどこから来たのか？

レデタマカンゲサ

クロミノニンジン

葦毛湿原の東海丘陵要素植物（6種）

平成30年9月9日(日)（開場13:30～）

豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール
〒440-0897 愛知県豊橋市松葉町二丁目63

当日先着順　定員99名

参加料 無料

講演者

植田邦彦
岐阜大学客員教授、植物分類学

プログラム

13:30	開場
13:55	内容説明・事務連絡
14:05～14:30	「葦毛湿原の大規模植生回復作業」豊橋市文化財センター　黄 元洋
14:30～14:40	休憩
14:40～16:10	「東海丘陵要素植物の湿生」岐阜大学客員教授　植田邦彦
16:10～16:30	質問応答
16:30	終了

主催：豊橋市教育委員会　問合せ：豊橋市文化財センター　TEL.0532-56-8060